

旭川市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る数値目標等の状況について

○人口全体の状況について

◇総人口と人口比率

	平成30年(2018) 10月		令和元年(2019) 10月		令和2年(2020) 10月		令和3年(2021) 10月	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
年少人口 (0～14歳)	37,157	11.0	36,248	10.8	35,416	10.7	34,451	10.5
前年増減	37,157	11.0	▲ 909	▲ 0.2	▲ 832	▲ 0.1	▲ 965	▲ 0.2
生産年齢人口 (15～64歳)	189,728	56.1	186,431	55.7	183,786	55.4	181,087	55.1
前年増減	189,728	56.1	▲ 3,297	▲ 0.4	▲ 2,645	▲ 0.3	▲ 2,699	▲ 0.3
老年人口 (65歳以上)	111,112	32.9	112,016	33.5	112,748	34.0	113,050	34.4
前年増減	111,112	32.9	904	0.6	732	0.5	302	0.4
合計	337,998	100	334,696	100	331,951	100	328,589	100
前年増減	337,998	-	▲ 3,302	-	▲ 2,745	-	▲ 3,362	-

※各年の合計には年齢不詳1人を含む。

◇自然増減

(各年1～12月)

	令和元年	令和2年	令和3年	R3-R2差
出生数	1,967	1,917	1,841	▲ 76
死亡数	4,496	4,669	4,736	67
増減計	▲ 2,529	▲ 2,752	▲ 2,895	▲ 143

◇社会増減

(各年1～12月)

	令和元年	令和2年	令和3年	R3-R2差
転入者数	10,800	10,490	10,039	▲ 451
転出者数	11,593	10,411	10,581	170
増減計	▲ 793	79	▲ 542	▲ 621
札幌市	▲ 1,233	▲ 920	▲ 1,111	▲ 191
道内札幌以外	853	1,020	950	▲ 70
道外	▲ 415	▲ 21	▲ 353	▲ 332

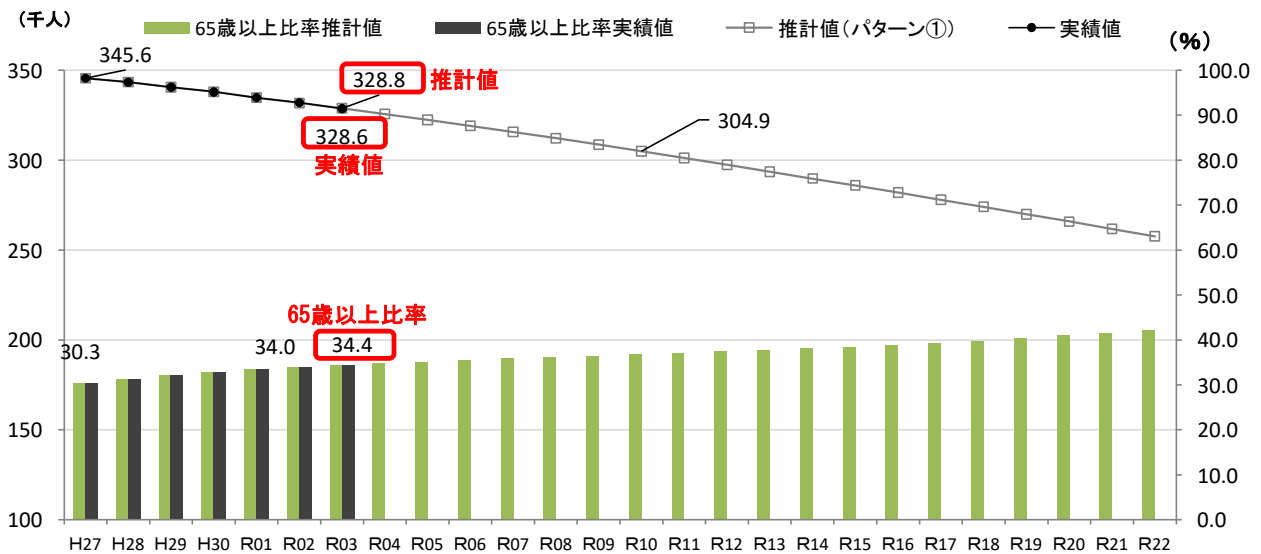
※転出超過の主な内訳

※道外には職権登録・削除分を含む

- 自然増減：出生数減少と死亡数増加の傾向は続いており、出生数、死亡数両面から自然減が拡大している。
 - 社会増減：転入者数の減少傾向が続いており、転出者数が増加に転じたことから社会減が進んでいる。
- ※R2はコロナの影響により行動制限があり、人流が抑制されたことで転入超過に転じたものと推定される。

◇人口ビジョンの推計人口との比較

本市の将来推計人口と現状の比較



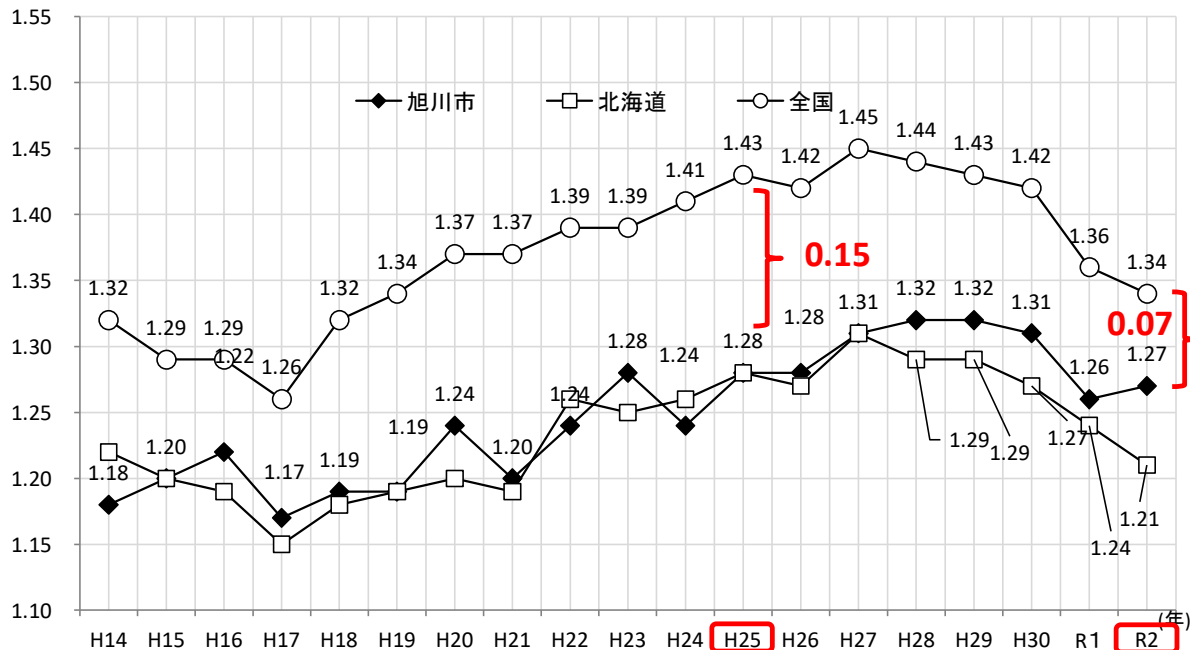
資料：旭川市(第8次総合計画, 人口ビジョン)

- 実績値が推計値を205人下回り、65歳以上比率は推計値34.4%と同率であった。
- 令和元年人口推計(パターン①：現状が将来にわたり継続すると仮定)を超える少子高齢化が進行している。

○基本目標1

指標	数値目標
合計特殊出生率 (H25年現在:全国1.43, 道1.28, 市1.28)	全国平均との乖離を縮小し, 全国水準まで引き上げる

(人)

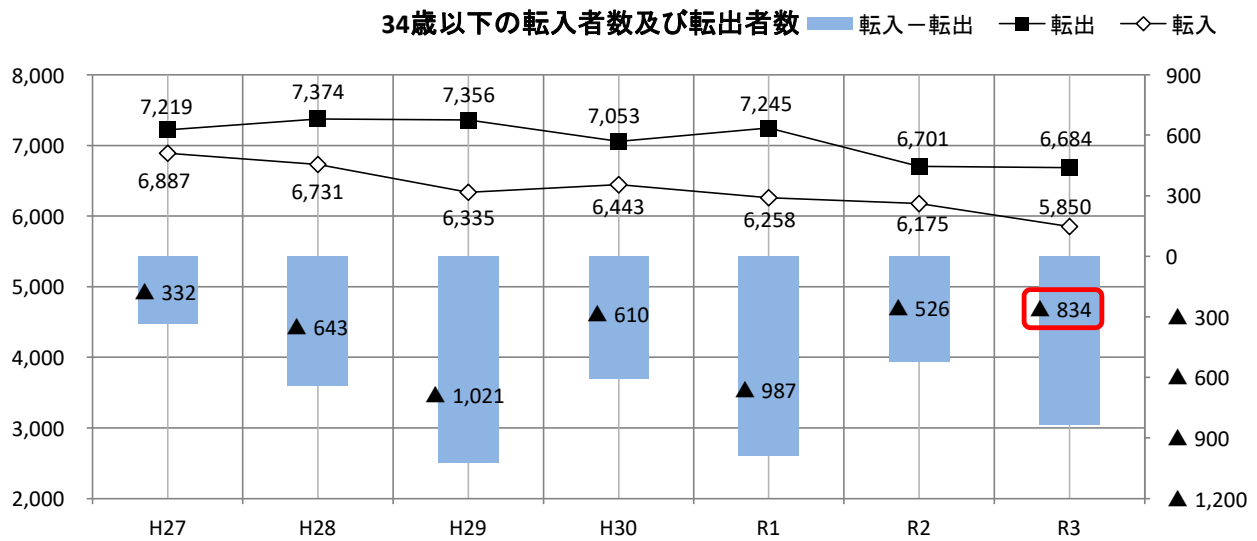


●合計特殊出生率は前年より0.01ポイント上昇し1.27となった。

●北海道の1.21を上回り, 全国1.34との差は0.07となっており, H25年当初と比較すると0.08ポイントの乖離幅の縮小となった。

○基本目標2-1

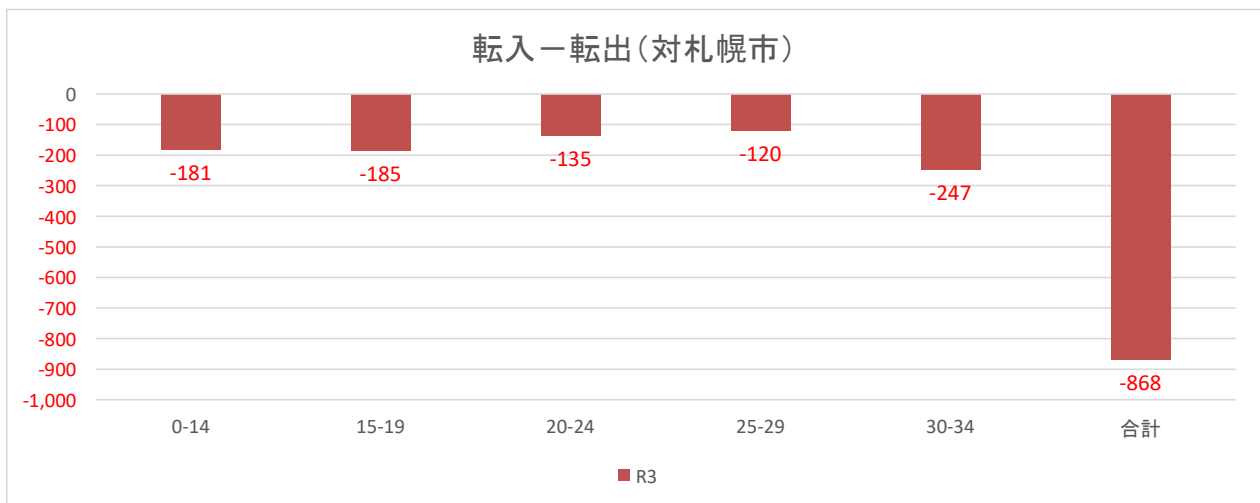
指標	数値目標
34歳以下の社会減(転入者数-転出者数)の減少 (H30年10月~R1年9月実績: ▲987人)	▲332人(H27年実績)より社会減を減少(R6年度)



<参考>旭川市の年齢別人口動態 (基準日:各年10月1日)

年齢階級(歳)	転入						転出						転入-転出					
	0-14	15-19	20-24	25-29	30-34	合計	0-14	15-19	20-24	25-29	30-34	合計	0-14	15-19	20-24	25-29	30-34	合計
R2	1,096	809	1,754	1,435	1,081	6,175	1,156	1,000	1,887	1,598	1,060	6,701	-60	-191	-133	-163	21	-526
R3	984	753	1,722	1,389	1,002	5,850	1,087	1,077	1,995	1,479	1,046	6,684	-103	-324	-273	-90	-44	-834
R3-R2	-112	-56	-32	-46	-79	-325	-69	77	108	-119	-14	-17	-43	-133	-140	73	-65	-308

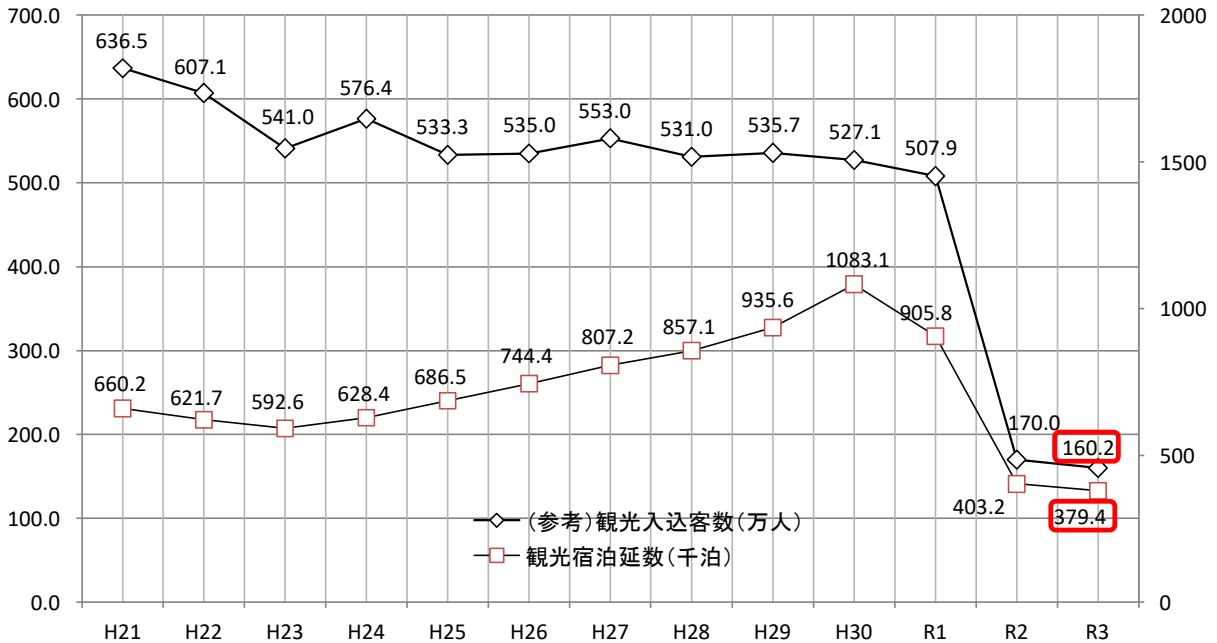
年齢階級(歳)	転入(うち対札幌)						転出(うち対札幌)						転入-転出(うち対札幌)					
	0-14	15-19	20-24	25-29	30-34	合計	0-14	15-19	20-24	25-29	30-34	合計	0-14	15-19	20-24	25-29	30-34	合計
R2	184	163	423	366	254	1,390	383	285	566	497	318	2,049	-199	-122	-143	-131	-64	-659
R3	203	165	475	372	245	1,460	384	350	610	492	492	2,328	-181	-185	-135	-120	-247	-868
R3-R2	19	2	52	6	-9	70	1	65	44	-5	174	279	18	-63	8	11	-183	-209



- 転出超過数は**834人**であり、昨年と比べて**308人**転出超過が増加しており、若年層の人口流出は進んでいる。
- 転入数は、いずれの世代も減少しているが、札幌からの転入は**70人**増加している。
- 転出数は、**17人**減少しているが、15-24歳代の転出が増加しており、特に札幌市への転出数はその世代に加え、30-34歳代の転出が大幅に増加し、0-34歳で**279人**転出が増加している。

○基本目標2-2

指標	数値目標
観光宿泊客延数(H30年度:1,083千人泊)	1,300千人泊(R6年度)



		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
宿泊延数	R3	18.6	21.4	18.5	49.3	46.8	24.5	42.2	32.0	36.8	32.8	22.6	33.9	379.4
	R2	8.0	6.4	20.6	46.8	58.1	64.9	66.2	36.9	30.3	18.4	21.1	25.5	403.2
	対前年 (R3/R2)	232.5%	334.4%	89.8%	105.3%	80.6%	37.8%	63.7%	86.7%	121.5%	178.3%	107.1%	132.9%	94.1%

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
観光入込客数	R3	30.1	71.2	93.5	246.9	261.4	146.7	245.3	138.9	139.1	58.3	65.7	104.5	1,601.6
	R2	16.2	31.6	118.7	240.4	290.3	442.4	226.3	86.6	77.2	39.5	56.1	75.0	1,700.3
	対前年 (R3/R2)	185.8%	225.3%	78.8%	102.7%	90.0%	33.2%	108.4%	160.4%	180.2%	147.6%	117.1%	139.3%	94.2%

- 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を大きく受けた令和2年度より更に減少し、観光入込客数及び宿泊延数ともに、約6%の減となった。
- 上半期(4月～9月)は、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置による人流の抑制、往来の自粛要請などの影響により6月及び8、9月は観光入込客数及び宿泊延数ともに前年を下回り、特に9月は前年がGoToトラベルやどうみん割による効果で回復傾向であったことから、昨年度に比べ60%以上の減少となった。
- 下半期(10月～3月)においては、緊急事態宣言が9月末で解除されたとともに、市の宿泊応援事業が10か月ぶりに全面的に事業を再開したことにより、観光入込客数は11月に前年比60%以上の増、宿泊延数も1月は約80%の増加となり、両指標共に前年より上回り回復の兆しが見られた。
- 通年では上半期における国による行動制限の影響が大きく、前年から減少する結果となった。

○基本目標3

指標	数値目標
産業全体の付加価値額【RESAS】(H28年度:380,107百万円)	471,332百万円(R6年度)

担当者コメント⑥

- RESASは経済センサスを基に分析されており、令和3年度に調査が実施されているが、実績値の更新は今後実施される予定。